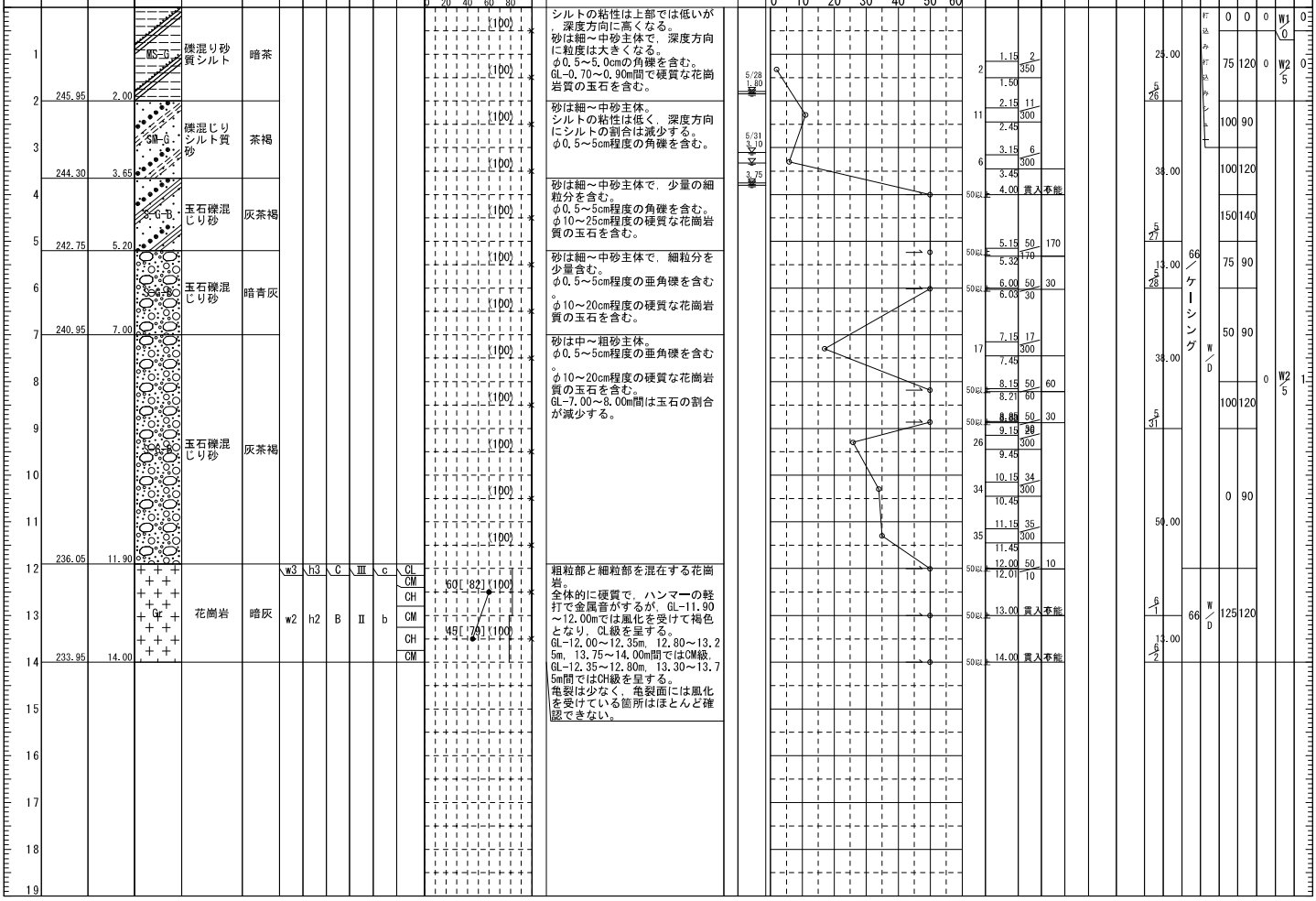
岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川　沼田川水系　栃木川　通常砂防事業に伴う設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	B-46-4	調査位置	広島県東広島市河内町	北緯	34° 30' 42.4875"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 5月26日～ 令和3年 6月 2日	東経	132° 48' 18.6305"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 247.95m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	14.00m	地盤勾配	20° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D-O型 / エンジン：ヤンマーNFD-10型 / ポンプ：東邦製BG-3C型


標尺 (m)
標高 (m)
深度 (m)
工学的地質区分名（模様）
工学的地質区分名
色調
風化の程度
変質の程度
硬軟
コア形状
割れ目の状態
岩級区分
コア採取率 (%)
最大コア長 cm
RQD [%]
記事
孔内水位／測定月日
標準貫入試験 深度－N値図
N値
深度
打撃ごとの貫入量
50回の貫入量
自沈時の貫入量
原位置試験
室内試験
削孔状況
削孔月日
削孔速度 (cm/h)
孔径・孔壁保護
コアチューブ・ビット
給圧 (MPa)
回転数 (rpm)
送水圧 (MPa)
削水・送水量 (L/min)
排水量 (L/min)
MS-O
礫混り砂質シルト
暗茶
245.95
2.00
SM-G
礫混じりシルト質砂
茶褐
244.30
3.65
S-G-B
玉石礫混じり砂
灰茶褐
242.75
5.20
S-G-B
玉石礫混じり砂
暗青灰
240.95
7.00
S-G-B
玉石礫混じり砂
灰茶褐
236.05
11.90
Gr
花崗岩
暗灰
233.95
14.00
w3 h3 C Ⅲ c CL
w2 h2 B Ⅱ b CM CH CM CH CM
シルトの粘性は上部では低いが，深度方向に高くなる。
砂は細～中砂主体で，深度方向に粒度は大きくなる。
φ0.5～5.0cmの角礫を含む。
GL-0.70～0.90m間で硬質な花崗岩質の玉石を含む。
砂は細～中砂主体。
シルトの粘性は低く，深度方向にシルトの割合は減少する。
φ0.5～5cm程度の角礫を含む。
砂は細～中砂主体で，少量の細粒分を含む。
φ0.5～5cm程度の角礫を含む。
φ10～25cm程度の硬質な花崗岩質の玉石を含む。
砂は細～中砂主体で，細粒分を少量含む。
φ0.5～5cm程度の亜角礫を含む。
φ10～20cm程度の硬質な花崗岩質の玉石を含む。
砂は中～粗砂主体。
φ0.5～5cm程度の亜角礫を含む。
φ10～20cm程度の硬質な花崗岩質の玉石を含む。
GL-7.00～8.00m間は玉石の割合が減少する。
粗粒部と細粒部を混在する花崗岩。
全体的に硬質で，ハンマーの軽打で金属音がするが，GL-11.90～12.00mでは風化を受けて褐色となり，CL級を呈する。
GL-12.00～12.35m，12.80～13.25m，13.75～14.00m間ではCM級，GL-12.35～12.80m，13.30～13.75m間ではCH級を呈する。
亀裂は少なく，亀裂面には風化を受けている箇所はほとんど確認できない。
5/28 1.80
5/31 0.10
3.75
1.15 2 350
1.50
2.15 11 300
2.45
3.15 6 300
3.45
4.00 貫入不能
5.15 50 170
5.32 170
6.00 50 30
6.03 30
7.15 17 300
7.45
8.15 50 60
8.21 60
8.80 50 30
9.15 30
9.45 300
10.15 34 300
10.45
11.15 35 300
11.45
12.00 50 10
12.01 10
13.00 貫入不能
14.00 貫入不能
25.00
38.00
13.00
38.00
50.00
13.00
66／ケーシング
66
W／D
W1 0
W2 5
0 0 0